

# 協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL & FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>

E-mail: [dha\\_epa@par.odn.ne.jp](mailto:dha_epa@par.odn.ne.jp)

事務局 南部 章

## 道東のマイワシ漁

今年のマイワシ漁について振り返ってみたいと思います。道東のマイワシ巻き網漁は昨年より半年早い6月下旬からスタートし、10月31日に終了しました。漁獲が本格化するにつれて操業する船団の数も増え、10月上旬には24船団全てが道東に集まり、北海道巻き網漁業協会の情報では、10月31日までの累計漁獲量は概算で昨年来を55%上回る21万5000トンに達しております。

道東では2011年にマイワシが再び見られるようになり、その後は漁獲量が回復し、今年は28年ぶりに20万トンを超える水揚げがありました。ただ、今年のマイワシは魚体が小さくミール向けが中心で、それと相まってミール工場の処理能力が強化されました。それでも、陸上の処理能力が追い付かず漁獲調整が行われたと言われております。来年のTAC(Total allowable catch)案が水産庁より示されましたが、マイワシは太平洋海域で本年よりも2割多い140万8,000トンとのことですので、来年の処理体制に課題を残すことになりそうです。

ところで、最近、マイワシの資源回復が注目を集めていますが、ご承知のように、マイワシは資源変動の激しい魚種です。1980年代に豊漁期を迎え、1983年から1988年にかけて道東沖の水揚げが100万トンを超えましたが、その後は徐々に減少し、1994年以降は実質的に漁獲がなくなりました。

マイワシの漁獲変動については様々な要因が指摘されていますが、これまでの研究によりレジームシフト理論がその一つに挙げられています。北太平洋の水温変動の指標値である太平洋十年規模振動指数とマイワシの漁獲量の変動が一致しています。冬季にアラスカ沖のアリューシャン低気圧や大陸のシベリア高気圧が強まると、亜寒帯水域から冷却水が増加し、親潮の表層水温は低くなって日本周辺海域は寒冷レジームになります。表層水温が低くなると冷えた海水が下降すると同時に下層の海水が上昇しいわゆる海水の鉛直混合が起きやすく、深層からの栄養塩供給が増加し、表層の基礎生産量が増加するとともに、動物プランクトンの組成も変化し、その結果、マイワシの初期生残率が向上し、資源が増加すると理解されています。

その一方で、マイワシ資源が増加するとカタクチイワシ資源が減少傾向を示し魚種交代が起こります。このような資源変動は、マサバ、スルメイカ、サンマなどでもレジームシフトと関連して資源が変動する小型浮魚類と考えられているようです。

今年は、マイワシの漁獲が増加する一方で、サンマやスルメイカが不漁でした。来年の動向が気にかかるそうです。

《幹事会のうごき》 令和元年11月8日(金)15:00~17:00に一般財団法人日本水産油脂協会新館において令和元年度第7回幹事会が開催された。

- ・10月23日に開催された公開講演会および懇親会について、収支および出席者数が事務局より報告された。
- ・次年度総会の日程について検討し、令和2年5月20日(水)に例年通り四ツ谷の「弘済会館」で開催することにした。期日が近くなりましたら、改めて連絡を差し上げます。

### 《2019年10月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2019年10月			2019年1月~10月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
3,085	667,094	216.2	19,409	4,688,494	241.6

### 《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2019年10月	2019年9月	2018年10月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	1,660	1,719	1,425

### <情報>チリ・ペルーの魚油生産量 (単位:トン)

出典:iffo

	第47週	第46週	2019年計(第47週まで)	2018年計(第47週まで)
チリ	3,313	3,012	120,627	119,524
ペルー	4,115	7,855	115,180	186,474